

## 平成 28 年度（2016 年度）事業報告

### 1. 全体評価まとめ

- (1) 出前授業は環境学習プログラム紹介用のパンフレットを作成し、またプログラム内容が充実したことにより、依頼が増加し 20 校 37 回、2,621 人の児童・生徒が参加した。
- (2) おきがる環境講座は、江戸川区危機管理室や子ども未来館等と連携し講座内容の工夫をしたものの、受講申込みが少なかったため、リーダー・仲間づくり講座は中止となった。
- (3) 「みどりのカーテン」事業は、前年度の参加者数を下回ったものの、委員会間との連携により、染色体験等に取り組み、事業のステップアップにつながった。
- (4) 区民向け講座として実施してきた生ごみの堆肥づくりを、小学校の出前学習にも生かすことで資源循環の仕組みを学んでもらった。
- (5) 「エコカンパニーえどがわ」登録事業所は、一昨年から始まった江戸川区の斡旋融資制度との連携により継続して増加し、今年度は新規営利会員 128 件が登録し、累計 355 件となった。併せてガイドブックのリニューアルを行った。
- (6) 江戸川区土木部や子ども未来館・和船の会等と連携し、新規事業である新川に親しむ環境学習イベント「新川を知ろう！体験教室」を実施した。
- (7) 葛西三枚洲地域のラムサール条約登録を目指して、江戸川区や野鳥の会等と連携しながら、環境省や東京都と協議を重ねた。

### 2. 次年度へ向けた重点課題・対策

- (1) 出前授業プログラムの内容を更に充実させるため、東京ガス等の企業や NPO 等との連携をすすめる。
- (2) おきがる環境講座においては、内容の工夫や募集方法の見直しを行うとともに、江戸川区内外の他団体とのさらなる連携を進め、参加者を確保していく。
- (3) 「みどりのカーテン」モニターの参加者数増加に向けて、募集チラシの配布先拡大や新たな情報媒体の活用等 PR に努める。
- (4) より多くの子ども達が参加できるよう「新川を知ろう！体験教室」を夏休みに実施する。併せて、子ども向けの自然学習に活かせる「新中川生き物図鑑」を発行する。
- (5) 個人会員を増やすため、地域で配布する案内チラシを作成する。併せて若者の参加を促すため、大学等のインターンシップの受け入れの検討をする。
- (6) 江戸川区が策定する「第 2 期エコタウンえどがわ推進計画」については、エコセンターで取りまとめた意見を積極的に提案していく。

(7) 「新中期計画」の策定においては、他の計画との整合性を保ちながら実践的に取り組むことができる計画とする。

(8) 第13回ラムサール条約締約国会議（COP13/2018）での登録を目指して、関係機関、関係団体、地域との連携を強化し活動を行っていく。

### 3. 事業評価

活動項目		H27	H28	比
事業	事業数（件）	283	258	△25
	参加者数（人）	20,722	20,795	73
会員	会員数（個人・団体）	249	374	125
	もったいない運動登録者数（人）	110,256	118,547	8,291
財務	区補助金実績（千円）	44,058	45,627	1,569
	民間等助成金実績（千円）	2,245	1,904	△341

### 4. 科目別事業評価

活動項目	事業数(件)	参加者数（人）
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	56	3,401
(2) 人材育成事業	12	386
(3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業	157	15,866
(4) 情報の提供及び支援事業	2	419
(5) 自然環境の保全と活用	32	863
計	258	20,795

#### (1) 環境教育・環境学習の推進事業

##### ○結果・評価

- ①イノシシ倶楽部等に加え、下平井水辺の楽校、葛西臨海・環境教育フォーラムが実施団体として新たに加わり、出前授業年間実績数は20校37回、参加児童・生徒数延2,621名に増加した。
- ②学校からは特に低学年における自然環境教育の要望が多く、講師・スタッフが不足している。
- ③すくすくスクール放課後環境教育では、子どもたちに人気の高いものづくり工作を楽しんでもらいながら、自然から電気が作られることに気づきを与えることができた。

##### ○次年度への課題・対策

- ①自然環境教育の担い手不足の解消のため、実施経験のある人材および団体の発掘に努める。
- ②学校で取り組みやすい植栽活動が環境学習や「学校版もったいない運動」につながるよう、働きかけを続ける。
- ③出前授業プログラムの内容を更に充実させるため、東京ガス等の企業やNPO等との連携をすすめる。

- ④東京オリンピック・パラリンピックや葛西海浜公園三枚洲のラムサール条約登録にあわせて、未来を担う子どもたちに、環境保全や生物多様性を学び体験し実践する取り組みについて検討する。

### (1-1)学校等環境学習支援

項 目	計 画	実 績
環境学習支援（グリーンプラン推進校・学校版もったいない運動）	10 校	10 校（累計 111 校） （説明・報告会 1 回/31 人）
出前授業（総合学習）の実施	15 回/1,000 人	20 校 37 回/2,621 人
すくすくスクール放課後環境教育	27 回/1,200 人	17 回/739 人

## (2) 人材育成事業

### ○結 果・評 価

- ①江戸川区危機管理室、子ども未来館、㈱環境エネルギー総合研究所、花王㈱等と連携して充実した内容の講座が実施できた。
- ②「リーダー・仲間づくり講座」は、昨年に引き続き参加者少数のため中止を余儀なくされた
- ③環境講演会（C.W ニコル氏）は、内容がわかりやすく会員及び一般区民の多くの人が環境に対して興味を持つきっかけの場となった。

### ○次年度への課題・対策

- ①区内外の企業・団体と連携をさらに広めて、人材確保とプログラム内容の充実に努める。
- ②「リーダー・仲間づくり講座」は江戸川総合人生大学や他団体と連携し内容の充実、PR 方法の検討を図るなど参加者確保に努める。
- ③環境講演会は、会員等からの要望を聞きより充実した内容としていく。

### (2-1)環境学習リーダー養成講座

項 目	計 画	実 績
おきがる環境講座	14 回/450 人	11 回/246 人

### (2-2)講演会

項 目	計 画	実 績
環境講演会	1 回/200 人	1 回/140 人

## (3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業

### ○結 果・評 価

- ①㈱産業経済新聞社より依頼を受け講師を派遣しもったいない講座を実施した。
- ②「みどりのカーテン」モニター報告書提出率について、講習会での呼びかけや配付資料に提出日の標記等を行ったことにより報告書の提出率が上がった。
- ③省エネナビ貸出事業は、夏休みの宿題への活用を出前授業等実績のある学校に呼びかけた結果、1 校 85 世帯で実施できた。

- ④プラスチック海洋汚染の講演会を実施したが参加人数が少なかった。
- ⑤区民向け講座として実施してきた生ごみの堆肥づくりを、小学校の出前学習にも生かすことで資源循環の仕組みを学んでもらった。
- ⑥商店街・スーパーマーケット・コンビニエンスストア・区と協力し、6月の環境月間と10月の3R推進月間を中心にポスターの掲示や区役所内での展示等の「マイバッグキャンペーン」を実施した。
- ⑦「エコカンパニーえどがわ」制度を充実させるためガイドブックを作成し、江戸川区産業振興課や広報課と連携してPR等に努めた結果、登録事業所数が大幅に増加した。

### ○次年度への課題・対策

- ①地域まつりや商店街でのイベントの他、企業との連携を強化して「もったいない運動」の裾野を広げていく
- ②新規に取り組む「みどりのカーテン」モニターの数が減ったため、配布先の拡大と共に情報紙へ募集記事を掲載する等PRに努めていく。
- ③省エネナビ貸出事業の対象を、学校向けの出前授業のプログラムとして学校に重点を置いていく。
- ④より多くの区民にプラスチック海洋汚染について知ってもらうため、講演会等への参加周知方法を見直し、会場を広げて実施する。
- ⑤江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブのメンバーを中心に、学校応援団として南小岩第二小学校の学校コンポストの利活用に協力していく。
- ⑥「エコカンパニーえどがわ」登録事業所の増加に伴い、役に立つ環境情報の提供や講演会・研修会の内容を充実させていく。

### (3-1)もったいない運動えどがわの推進

項目	計画	実績
もったいない運動登録者の拡大	116,000人	118,547人
環境フェア	5,000人	5,000人
もったいない講座・講習会の開催	50人	3回/78人
地域イベントへの参加	15回/7,000人	14回/6,843人
もりあげ隊(ボランティア参加者数)	実施	19回/81人

### (3-2)省エネ・新エネルギーの推進

項目	計画	実績
省エネ・節電チャレンジ	50世帯	17世帯
省エネナビ貸出	15回/35世帯	説明会(保護者会) 1回/85世帯 ※松江小学校の5年生児童の世帯で実施
家庭の省エネ診断		説明会3回/6人 訪問調査1回/1人 診断書説明1回/2人

環境に配慮したエコライフ講座、講習会等の開催	20回/350人	15回/228人 (エコ・クッキング 7回/104人)
「みどりのカーテン」の普及啓発	15回/450人	講習会 14回/309人 交流会 1回/18人 環境フェア 78人
キャンドルナイト(スタンド作り)	実施	2回/43人

### (3-3)3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進

項目	計画	実績
マイバッグキャンペーン	春・秋2期	環境月間 (展示会4日/145人)
3Rに関する講座、講習会等の開催	75回/1,100人	72回/1,132人
エコセンターおもちゃの病院	12回/250人	12回/293人

### (3-4)事業者の取組み推進・支援

項目	計画	実績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	80件	128件(累計355件)
エコカンパニーえどがわ普及啓発講座	実施	1回/140人
ece登録事業者への省エネルギー相談	実施	実施
ガイドブックの作成	-	1,000部

### (3-5)商店(街・会)やスーパーのエコ活動支援

項目	計画	実績
商店街主催イベントへの支援	3回/600人	2回/784人

### (3-6)イベント等への参加

項目	計画	実績
産業ときめきフェア	200人	2日/200人
エコプロダクツ2016	450人	3日/450人

### (3-7)チャレンジ・ザ・ドリーム(中学生職場体験)

項目	計画	実績
チャレンジ・ザ・ドリーム (中学生職場体験)	実施	5校/14人

## (4) 情報の提供及び支援事業

### ○結果・評価

- ①ホームページについては、過去のイベントや講習会をカテゴリ検索できるよう修正し、より充実した内容となった。
- ②「エコちゃんねる」のデザインを一新し、また発行数を4回に増加したことによりえどがわエコセンターのPRの充実につながった。

③水辺環境調査結果のデータ公開について、江戸川区の許可を得て、過去のデータを全てホームページ上に掲載した。

#### ○次年度への課題・対策

- ①ホームページの運営について、フェイスブックやブログのリアルタイムな更新を行っていく。
- ②「エコちゃんねる」の内容について、より見やすく読者を飽きさせない構成やトピックスの研究に努めていく。
- ③個人会員を増やすため、地域で配布する案内チラシを作成する。併せて若者の参加を促すため、大学等のインターンシップの受け入れの検討をする。

#### (4-1)情報の発信と提供

項 目	計 画	実 績
情報紙「エコちゃんねる」の発行	4回	38,40号 各2,000部 39,41号 各3,000部
ホームページの運営管理	実施	実施
リーフレットの作成	実施	改訂版5,000部 ※会費の改訂等
多目的ルームの活用	実施	実施

#### (4-2)他団体との連携・活動支援

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学への講師派遣	実施	実施
日本環境教育フォーラム等との連携	実施	実施
秋の公園フェスティバル	1,000人	387人

#### (4-3)相談業務事業

項 目	計 画	実 績
会員等からの団体運営や事業等の相談	実施	実施

#### (4-4)会員の拡大

項 目	計 画	実 績
会員向けの講演会・交流会の実施	実施	バス見学会 1回/32人
あらゆる機会をとらえてのPR	実施	実施

### (5) 自然環境の保全と活用

#### ○結 果・評 価

- ①水辺環境調査の船上調査日程を8月実施と早目に設定したが、悪天候のため2度の延期を余儀なくされた。
- ②生き物図鑑第2弾「江戸川版」を作成。江戸川区内小中学校や公共施設等に配布した。
- ③江戸川区土木部、子ども未来館、その他団体と連携し区内小学生対象に「新川を知ろう！体験教室」を実施した。歴史や河川の構造、生物、水質調べ、和船への乗船体験等、様々な視点から総合的に学ぶことができたが、参加者が少なかった。

- ④葛西三枚洲地域のラムサール条約を目指して、江戸川区や野鳥の会等と連携しながら、環境省や東京都と協議を重ねた。

### ○次年度への課題・対策

- ①水辺環境調査は、天候影響による延期を加味し、予備となる日程の想定をしておく。  
 ②第3弾「新中川生き物図鑑」を、河川の特徴を出せるように作成する。  
 ③「新川を知ろう！体験教室」は子どもが参加しやすい夏休みに開催時期を設定する。  
 ④第13回ラムサール条約締約国会議（COP13/2018）での登録を目指して、関係機関、関係団体、地域との連携を強化し活動を行っていく。

#### (5-1)水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、江戸川・旧江戸川、荒川、葛西沖の水辺環境調査（受託事業）	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査（植物・鳥類・ 魚類・底生動物）1回	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査（植物・鳥類・ 魚類・底生動物）1回

#### (5-2)自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	150人	2回/159人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める（ムジナモ・ビオトープ）	100人	4回/98人

#### (5-3)自然観察会・えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	450人	17回/429人
一之江境川親水公園自然観察会	160人	126人
自然活動用啓発冊子、安全に関わる情報提供	実施	江戸川生き物図鑑 10,000部

#### (5-4) ラムサール条約

項 目	計 画	実 績
葛西三枚洲地域のラムサール条約登録	-	江戸川区・野鳥の会等と連携し、環境省や東京都と協議